

Bangladeshにおけるリハビリテーション医療の関連資格制度 (1/2)

a. 医師

Bangladeshでは、Physical Medicine Doctor と称されるリハビリテーション専門医制度があり、5年間の講義と2年間の実習を経て取得できる医師国家資格である。 8 大学の医科大学でリハビリテーション専門医養成コースを設けている。

b. 理学療法士 (PT)

8 つの教育機関で5 年コース (4 年間の講義と1 年間の実習) の養成が行われており、年間卒業生数は300 名程度である。PT の国家資格はないため、BPA はPT を国家資格とするべく Bangladesh 政府と交渉を行っている。 Bangladesh 国内に3,000 名程度のPT 学位を取得した者がいるが、内2,000 名程度がPT として職に就いている。BPA はPT の認定資格を提供しているが、PT 就業者2,000 名程度のなかで認定を受けているのは700 名程度である。大半は卒業時の学位が事実上の資格として機能している。

Bangladeshにおけるリハビリテーション医療の関連資格制度 (2/2)

c. BangladeshのPhysical Medicine Doctor とPT

Bangladeshでは、PTが理学療法を医師の指示の下に行うべきかどうか定められていない。現状は明示された規定がないため、PTは医師の指示がなくとも診断や治療を行える。そのため、Bangladeshの私立病院やクリニックにおいては、医師が不在の状態でもPTが施術を行うのが一般的である。一方、国立や大学付属の病院においてはPhysical Medicine Doctorが理学療法の処方を行い、処方に従ってPTが施術を行うのが一般的である。BPAはPTを国家資格とし、PTの独立性を高め、Bangladesh全体においてPTが医師の処方なしに治療を行う方式が採用されることを目指している。従って、BPAとPhysical Medicine Doctorの間には一定の利害対立が存在している。